

あれこれ通信

しぶやとみこの議会報告

NO. 61

2010年4月18日

渋谷とみ子の会

埼玉県比企郡嵐山町平沢 254-64

Tel / Fax 0493 -62-7997

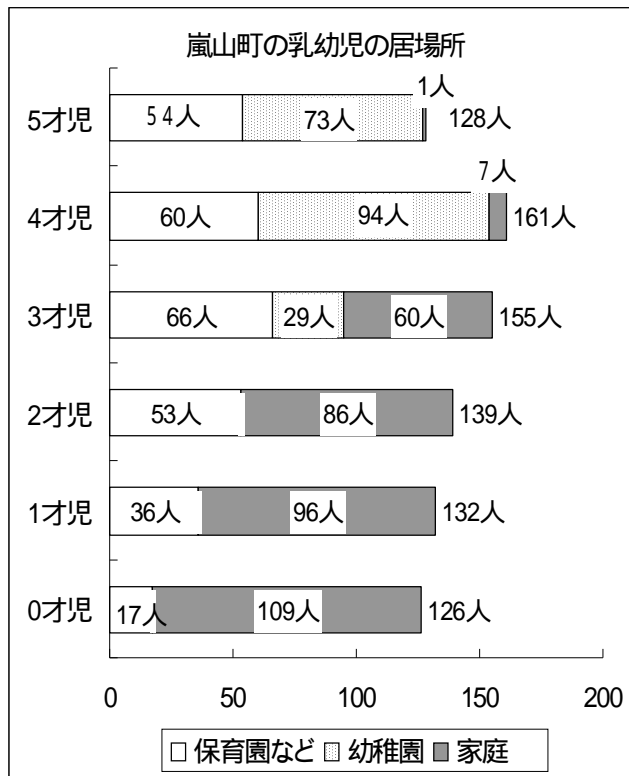
<http://www.k2.dion.ne.jp/~saiko/shibuya/>

Eメール shibuya97@s4.dion.ne.jp

未来につながるまちづくりのレシピは

菅 谷小学校は、床と壁が、木造りに改修され、やわらかい雰囲気です。床に寝転がる子どももいると校長先生のお話でした。窓枠や廊下と教室の仕切りの壁のペンキがはげていて気の毒だなあと思いました。

「おとうさんたちがペンキ塗りをしますよ。廃品回収でお金をいっぱいもっていますから」という校長先生のお話。素適です。アメリカ開拓時代の学校のようにです。



議 会で、0 から 4 才までの子どもの居場所、中学卒業した人の嵐山町での居場所についても質問しました。グラフのように、0 才～2 歳までは保育園か家庭ですごします。町立幼稚園は 3 才児クラスがなく、4・5 才児のクラスだけです。3 才児は町外の幼稚園に通園しています。

3 才児にも、同じ年齢の子とふれあう時間がほしいなあと思います。町立幼

嵐 山町の少子化・人口減少は目に見える数字に表れています。4月1日現在で人口は1万8974人、そのうち外国人が314人です。日本も嵐山町も逆三角形の人口構成の時代になります。少子化対策には女性からのまちづくりの発想が必要です。今後は女性の視点のまちづくり計画が必要です。子どもを育てにくい現実があるからです。

稚園に 3 才児クラスを作ることが財政的にむずかしいなら、週に 2～3 回の集団遊びを定例にした公共サービスがあるといいですね。

中学卒業後の 10 代後半の人が、たとえば嵐山祭りなどを企画し、参加し、意見する機会があると、嵐山町が好きでいると思います。高校無償化は進学しない人には関わりがありません。進学しない人にも大人の手助けがある就労支援や社会参加の場や相談場所がほしいですね。



議員有志による平成 22 年度予算説明・意見交換会

日時 5月15日(土)1時～4時

場所 勤労福祉会館

金丸友章 (62 - 9008)・河井勝久 (62 - 2023)・川口浩史 (62 - 9341)・渋谷登美子 (62 - 7997)